

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 04298858
PUBLICATION DATE : 22-10-92

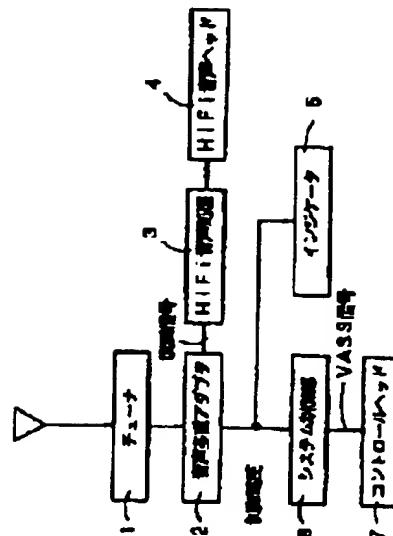
APPLICATION DATE : 27-03-91
APPLICATION NUMBER : 03085975

APPLICANT : FUJITSU GENERAL LTD;

INVENTOR : ITO YUJI;

INT.CL. : G11B 20/02 H04N 5/782

TITLE : MAGNETIC RECORDING AND
REPRODUCING DEVICE



ABSTRACT : PURPOSE: To automatically reproduce the sound of desired language by selecting the one side sound of bilingual sounds continuously while reproducing a prescribed identification signal by a control head.

CONSTITUTION: By an audio multiplex adaptor 2, TV sound inputted from an antenna is demodulated through a tuner 1, outputted to a HiFi sound processor 3, and a control voltage indicating the discrimination of the monaural signal, the stereo signal and the bilingual signal of the sound is outputted and inputted to an indicator 5 and a system control part 6. By the control part 6, a preset VASS signal (identification signal) is generated, is sent to the control head 7 and recorded to the control track of a magnetic tape. At the time of reproducing, the VASS signal is regenerated to input to the control part 6 by the head 7 and the desired sound is outputted by being controlled through the circuit 3 by the control part 6.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-298858

(43) 公開日 平成4年(1992)10月22日

(51) Int.Cl.⁵
G 11 B 20/02
H 04 N 5/782

識別記号 庁内整理番号
J 8425-5D
R 8425-5D
K 7916-5C
Z 7916-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平3-85975

(22) 出願日

平成3年(1991)3月27日

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 伊藤 裕治

神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式

会社富士通ゼネラル内

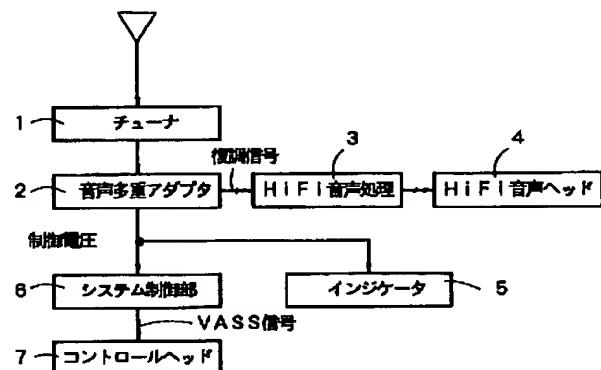
(74) 代理人 弁理士 長尾 常明

(54) 【発明の名称】 磁気記録／再生装置

(57) 【要約】

【目的】 2カ国語音声を記録して再生すると従来では両音声が同時に再生されるが、この再生時に自動的に一方の音声が選択されるようにした磁気記録／再生装置を提供することである。

【構成】 音声多重アダプタから出力する2カ国語音声識別信号を検出している間継続してコントロールヘッドに特定の識別信号を出力する手段と、上記コントロールヘッドで上記特定の識別信号を再生して間継続して2カ国語音声の一方の音声を選択する手段を設けて構成した。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 音声多重アダプタから出力する2カ国語音声識別信号を検出している間継続してコントロールヘッドに特定の識別信号を出力する手段と、上記コントロールヘッドで上記特定の識別信号を再生して間継続して2カ国語音声の一方の音声を選択する手段を設けたことを特徴とする磁気記録／再生装置。

【請求項2】 上記識別信号がVASS信号であることを特徴とする請求項1の磁気記録／再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、HIF1方式の磁気記録／再生装置に係り、特に2カ国語音声を好適に記録／再生できるようにした磁気記録／再生装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 HIF1方式のビデオテープレコーダーは、音声信号をFM変調してから磁気テープの映像トラックに重ねて深層記録するものであり、最大周波数偏移を大きくとれることから、ダイナミックレンジが大きくなり、また20～20KHzまでほぼ平坦な周波数特性を得ることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、このHIF1方式では、2カ国語音声のように主音声と副音声とが全く異なる音声の場合には、それを記録したものを再生すると、例えばLチャンネルには日本語音声、Rチャンネルには英語音声が出力するので、この再生時に特別に操作して一方を選択する必要があった。本発明の目的は、2カ国語音声であっても、再生時に自動的に一方の音声が選択されて再生されるようにした磁気記録／再生装置を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 このために本発明は、音声多重アダプタから出力する2カ国語音声識別信号を検出している間継続してコントロールヘッドに特定の識別信号を出力する手段と、上記コントロールヘッドで上記特定の識別信号を再生して間継続して2カ国語音声の一方の音声を選択する手段を設けた。

【0005】

【実施例】 以下、本発明の実施例について説明する。図1はその一実施例の記録部のブロック図である。1はアンテナから入力するTV音声を選局・増幅処理するチューナーであり、ここからの音声信号出力が音声多重アダプタ2に入力して復調され、主音声信号、副音声信号、パ

2

イロット信号等が出力する。そして、これらの信号はHIF1音声処理回路3に入力して、HIF1音声ヘッド4から磁気テープに記録される。また上記音声多重アダプタ2からは、現在の音声信号のモノラル、ステレオ、2カ国語の区別を示す制御電圧も出力し、インジケータ5に入力すると共に、全体を制御するシステム制御部6にも入力する。このシステム制御部6では、2カ国語音声を示す制御電圧が入力することにより、予め設定したVASS信号（識別信号）を発生して、コントロールヘッド7に送る。

【0006】 よって、2カ国語音声信号が音声多重デコーダ2に入力した際には、図3に示すように磁気テープ8の映像トラック81に映像と共に2カ国語音声信号がバイロット信号と一緒に記録され、またこの2カ国語音声信号の存在する間は連続的に上記したVASS信号がコントロールトラック82に記録される。

【0007】 図2は再生部のブロック図である。HIF1音声ヘッド5からは主音声、副音声、およびバイロット信号が取出してHIF1処理回路3に入力し、またコントロールヘッド7ではVASS信号が再生されてシステム制御部6に入力する。そして、このVASS信号が存在するときは2カ国語音声を再生している時であるが、この時は、システム制御部6がHIF1音声処理回路3における処理を、例えば日本語優先に切り換えるよう制御する。この結果、出力端子9には日本語音声が 출력する。

【0008】 このように、本実施例では2カ国語音声を記録する際に、コントロールヘッド7で磁気テープ8のコントロールトラック82に連続的に特定のVASS信号を記録しておき、再生時にこのVASS信号を検出してHIF1音声処理回路3を制御し、2カ国語音声の一方の音声を自動的に選択して出力するものである。よって、上記したVASS信号が記録されないときは、HIF1音声処理回路3は従来と同様に動作し、モノラル再生、或はステレオ再生が行われる。

【0009】

【発明の効果】 以上から本発明によれば、2カ国語音声を記録して再生する際に、自動的に特定の言語の音声が再生されるようになり、磁気記録／再生装置に対して特別の操作を加える必要がなくなる。

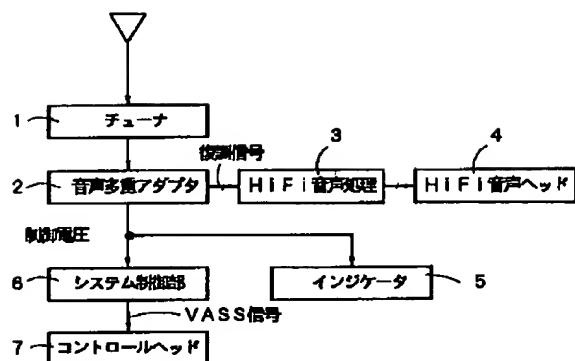
【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の記録部のブロック図である。

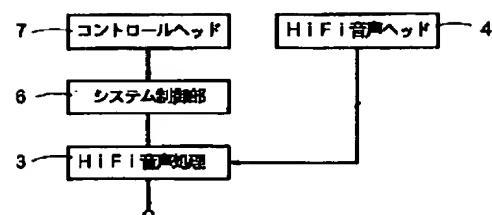
【図2】 同実施例の再生部のブロック図である。

【図3】 磁気テープの説明図である。

【図1】



【図2】



【図3】

